

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 10 月 20 日(2022.10.20)

【公開番号】特開 2022-92044(P2022-92044A)
 【公開日】令和 4 年 6 月 21 日(2022.6.21)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-111
 【出願番号】特願 2022-66762(P2022-66762)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 2 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 10 月 12 日(2022.10.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

発射手段と、

該発射手段によって発射された遊技球が流下する流下領域と、

該流下領域の所定の領域を通過した遊技球を検知する複数の所定検知手段と、

前記所定の領域の一部に対応して設けられ、対応する所定の領域への遊技球の通過を制御する遊技球誘導部材と、

前記複数の所定検知手段と電氣的に接続され、遊技に対する遊技価値を付与するための処理を実行する遊技価値付与手段と、

30

前記遊技価値として遊技球を払い出す払出手段と、

前記遊技価値付与手段と電氣的に接続され、前記払出手段と制御信号の送受信を行う事なく、前記遊技球誘導部材が設けられた前記所定の領域への遊技球の通過に係る情報の処理を含む所定の処理を実行する処理実行手段と、

を備える遊技機であって、

前記遊技価値付与手段は、

前記遊技に対する遊技価値を付与するための処理に用いられる情報であって、前記所定検知手段の検知に対して参照される参照用情報を記憶する第 1 参照用情報記憶手段と、

当該遊技機への電力の所定の供給が開始された後であって遊技を進行させるための特定処理の実行を開始する前に、前記第 1 参照用情報記憶手段に記憶されている前記参照用情報に対応した参照用情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第 1 送信手段と、

40

前記所定検知手段による検知に基づいて取得された情報である入球情報に基づく所定情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第 2 送信手段と、

を備え、

前記処理実行手段は、

前記遊技価値付与手段から送信された前記参照用情報信号に対応した参照用情報を記憶する第 2 参照用情報記憶手段と、

前記第 2 送信手段から送信された前記所定情報信号と、前記第 2 参照用情報記憶手段に記憶された前記参照用情報とに基づいて前記所定の処理を実行する実行手段と、

50

該実行手段による前記所定の処理の処理結果に関する情報である処理結果情報を記憶する処理結果情報記憶手段と、

前記処理結果情報に基づいて所定の表示手段を制御する表示制御手段と、を備え、
前記遊技価値付与手段と、前記処理実行手段とは、異なる基板ボックスに収納され、
前記遊技価値付与手段は、前記第 1 送信手段により前記参照用情報信号を送信した後、該
参照用情報信号に対応した参照用情報が前記第 2 参照用情報記憶手段に記憶されたか否か
にかかわらず前記特定処理の実行を開始するものであることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、発射手段と、該発射手段によって
発射された遊技球が流下する流下領域と、該流下領域の所定の領域を通過した遊技球を検
知する複数の所定検知手段と、前記所定の領域の一部に対応して設けられ、対応する所定
の領域への遊技球の通過を制御する遊技球誘導部材と、前記複数の所定検知手段と電氣的
に接続され、遊技に対する遊技価値を付与するための処理を実行する遊技価値付与手段と
、前記遊技価値として遊技球を払い出す払出手段と、前記遊技価値付与手段と電氣的に接
続され、前記払出手段と制御信号の送受信を行う事なく、前記遊技球誘導部材が設けられ
た前記所定の領域への遊技球の通過に係る情報の処理を含む所定の処理を実行する処理実
行手段と、を備えるものであって、前記遊技価値付与手段は、前記遊技に対する遊技価値
を付与するための処理に用いられる情報であって、前記所定検知手段の検知に対して参照
される参照用情報を記憶する第 1 参照用情報記憶手段と、当該遊技機への電力の所定の供
給が開始された後であって遊技を進行させるための特定処理の実行を開始する前に、前記
第 1 参照用情報記憶手段に記憶されている前記参照用情報に対応した参照用情報信号を前
記処理実行手段に対して送信する第 1 送信手段と、前記所定検知手段による検知に基づい
て取得された情報である入球情報に基づく所定情報信号を前記処理実行手段に対して送信
する第 2 送信手段と、を備え、前記処理実行手段は、前記遊技価値付与手段から送信され
た前記参照用情報信号に対応した参照用情報を記憶する第 2 参照用情報記憶手段と、前記
第 2 送信手段から送信された前記所定情報信号と、前記第 2 参照用情報記憶手段に記憶さ
れた前記参照用情報とに基づいて前記所定の処理を実行する実行手段と、該実行手段によ
る前記所定の処理の処理結果に関する情報である処理結果情報を記憶する処理結果情報記
憶手段と、前記処理結果情報に基づいて所定の表示手段を制御する表示制御手段と、を備
え、前記遊技価値付与手段と、前記処理実行手段とは、異なる基板ボックスに収納され、
前記遊技価値付与手段は、前記第 1 送信手段により前記参照用情報信号を送信した後、該
参照用情報信号に対応した参照用情報が前記第 2 参照用情報記憶手段に記憶されたか否か
にかかわらず前記特定処理の実行を開始するものである。

20

30

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の遊技機によれば、発射手段と、該発射手段によって発射された遊技球が流下す
る流下領域と、該流下領域の所定の領域を通過した遊技球を検知する複数の所定検知手段
と、前記所定の領域の一部に対応して設けられ、対応する所定の領域への遊技球の通過を
制御する遊技球誘導部材と、前記複数の所定検知手段と電氣的に接続され、遊技に対する
遊技価値を付与するための処理を実行する遊技価値付与手段と、前記遊技価値として遊技
球を払い出す払出手段と、前記遊技価値付与手段と電氣的に接続され、前記払出手段と制

50

御信号の送受信を行う事なく、前記遊技球誘導部材が設けられた前記所定の領域への遊技球の通過に係る情報の処理を含む所定の処理を実行する処理実行手段と、を備えるものであって、前記遊技価値付与手段は、前記遊技に対する遊技価値を付与するための処理に用いられる情報であって、前記所定検知手段の検知に対して参照される参照用情報を記憶する第1参照用情報記憶手段と、当該遊技機への電力の所定の供給が開始された後であって遊技を進行させるための特定処理の実行を開始する前に、前記第1参照用情報記憶手段に記憶されている前記参照用情報に対応した参照用情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第1送信手段と、前記所定検知手段による検知に基づいて取得された情報である入球情報に基づく所定情報信号を前記処理実行手段に対して送信する第2送信手段と、を備え、前記処理実行手段は、前記遊技価値付与手段から送信された前記参照用情報信号に対応した参照用情報を記憶する第2参照用情報記憶手段と、前記第2送信手段から送信された前記所定情報信号と、前記第2参照用情報記憶手段に記憶された前記参照用情報とに基づいて前記所定の処理を実行する実行手段と、該実行手段による前記所定の処理の処理結果に関する情報である処理結果情報を記憶する処理結果情報記憶手段と、前記処理結果情報に基づいて所定の表示手段を制御する表示制御手段と、を備え、前記遊技価値付与手段と、前記処理実行手段とは、異なる基板ボックスに収納され、前記遊技価値付与手段は、前記第1送信手段により前記参照用情報信号を送信した後、該参照用情報信号に対応した参照用情報が前記第2参照用情報記憶手段に記憶されたか否かにかかわらず前記特定処理の実行を開始するものであるので、参照用情報を、処理実行手段に予め記憶させなくても使用可能にできるという効果がある。

10

20

30

40

50